

# 議会だより

平成28年  
11月1日  
発行

第28号



市神祭 (写真は林 誠三郎さん提供)

※議会だよりは、3月・6月・9月・12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開催される臨時会の内容を中心に編集しており、2月・5月・8月・11月に発行します。

## お知らせ

7月に開催した議会報告会で、市民のみなさんから出された要望・意見への回答を掲載しました。

議会からの回答は2ページ、市からの回答は3ページです。ぜひお読みください。

## 目次

- 議会報告会で出された要望・意見の回答 ..... 2
- 議決結果・議案に対する賛否一覧 ..... 4
- 議会レポート／議案に対する討論 ..... 5
- 一般質問 ..... 6
- 委員会レポート ..... 13
- 平成28年第4回定例会の予定 ..... 16

**28年度議会報告会でも  
出された議会に対する  
要望・意見の回答**

7月16日・17日に開催した議会報告会で、市民の皆さんから出された要望・意見の中から主なものを掲載します。

**① 高齢者ばかりなので、もっと若い人に参加してもらおう努力してほしい。**

**(回答)**

議会報告会の開催にあたっては、平成23年の第1回から、若い方にもご参加いただけるよう、土曜日または日曜日の開催を基本にしています。若い方だけではなく、あらゆる世代の方に一人でも多くご参加いただくためには、足を運んでいただくにふさわしい魅力ある議会報告会にしていかなければなりません。今年度においては、東小学校区の会場を、児童科学館から東「ミニコミュニティセンター」に変更し、参加していただいた方が増加いたしました。

これまでも、市民の皆様に関心が高いテーマを、どのようにしたらわかりやすく市民の皆様にお伝えできるのかを最優先に開催しておりますが、残念ながら、参加者の増加に結びつけられていません。なかなか効果的な具体策は見つかりませんが、今後も議会報告会の魅力を向上させるための努力を続けてまいります。

**② 今回の資料は分かりづらかった。**

**(回答)**

議会報告会で扱うテーマは、3つある常任委員会が受け持つ各行政分野のうち、今、市民の皆様に関心が何に向いているのかという点を重視してテーマを決めています。また、資料は、できる限りわかりやすい言葉を使うように努めて作成しています。テーマと資料は、議会報告会の魅力を左右する大事な要素ですので、今後も議員間でしっかりと協議を行い、改善に向けた工夫を重ねてまいります。

**③ 議会報告会もいろいろ、懇談会形式でやってみよう。**

**(回答)**

議会報告会では、予定の2時間のうち、はじめの40分ほどを議員からの説明に、残りの80分ほどを参加者の方からの声をお聞きする時間としています。

その理由は、過去の開催での「議員の説明時間が長すぎる」との多くの声に対する反省を踏まえたものです。今回の議会報告会では、時間の都合により、希望するすべての方のお話しをお聞きできなかった会場もありましたが、参加した皆様の体調面も考慮し全体で2時間としておりますので、ご理解をお願いいたします。

なお、議会報告会は、住所に関わらずどの会場へもご参加いただけますので、

複数会場への参加もぜひご検討ください。

**④ 議会だよりは一般質問より、委員会や請願等の審議状況を望む。**

**(回答)**

議会だよりは、平成21年の創刊から、議会内に設置した議会だより編集委員会委員の議員が中心となって発行しております。これまで市民の皆様からいただいた数多くのご意見をもとに何度も誌面の見直しを行ってきました。

一般質問は、議員が日頃の議員活動の中でとらえた行政課題について、その見解を市当局に問い質す場です。扱う内容は議員によって様々なため、非常に多岐の分野に渡るようになります。

また、おのずと答弁等の内容は最新の情報であるため、市民の皆様に関心も高く、議会だより掲載への優先順位はもとも高いものと判断しています。

誌面のスペースには限りがあることから、掲載内容については、ご理解をお願いいたします。なお、常任委員会は、住所、氏名、年齢を所定の用紙にご記入いただければ基本的には傍聴ができますのでぜひ一度おこしください。

**⑤ 議員定数についてどう考えるか。**

**(回答)**

人口に応じて、議員定数の上限数を定めた地方自治法の規定が平成23年に

廃止となり、定数は条例により市が独自で定めるものになりました。

当市議会においては、議会内の協議により、定数を昭和38年に30人から25人へ、平成19年に25人から23人、平成23年に23人から現在の20人へと段階的に削減してまいりました。

今回いただいた意見とは別に、当市議会内にも、定数について協議を行うべきとの声が上がっておりますので、年内には議論を始める予定です。



**28年度議会報告会で  
出された要望・意見に  
対する市からの回答**

① 一貫性ある子育て支援の充実を望む。

(回答)

子ども条例に基づき、子どもが幸せに暮らすことのできるまちを実現するため、保育サービスの充実を図るとともに、親の社会的な活動への参加と子育てが両立できる環境づくりを進めてまいります。

妊娠前から出産、子育て期にわたるまでの多様なニーズに対し、総合的な相談支援を提供する子育て世代包括支援センターを平成29年度から開設いたします。

子育て世代包括支援センターでは、保健師と保育士が連携することで、妊娠から子育て期まで切れ目ない支援をしてまいります。

② 若い世代の流出を止めなければ。

何か方策はあるのか。(名古屋の衛星都市であり、人口減少を食い止める具体的な戦略を考えるべき。)

(回答)

「津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「津島市人口ビジョン」の策定時における人口等統計データ分析や各種

アンケート調査等の結果から、若い世代の人々が、進学や就職、結婚、持ち家取得などを機に隣接自治体等に転出する傾向があります。このことから、子育て環境の充実や雇用の場の確保、利便性の高い居住環境の整備等に引き続き重点的に取り組んでまいります。また、歴史・文化を活かした魅力あるまちづくりに取り組み、市の良さを発信するとともに、市内には市民病院を始め多くの医療機関が立地していることから「健康で安心して」暮らし続けられるまち津島を積極的にPRしてまいります。

③ 藤まつりや津島神社などの観光拠点を含む通年観光の取り組みは。

(回答)

通年観光の取り組みとしては、国の社会資本整備総合交付金を活用し、まちなかの魅力や回遊性の向上に資する小路整備事業、市民活動団体のまちづくり活動の支援を行っています。

また、国の地方創生加速化交付金を活用し、津島の魅力を情報発信して、津島に来てくださる方を増やし、来てくださった方をおもてなしして津島の魅力を伝えるため、津島にぎわい「創出プロジェクト」として以下の6事業に取り組んでいます。

- ・津島OSH情報発信事業
- ・津島おもてなしステーション
- ・REDDISCOVERY TSUSHIMA
- ・短編小説コンテスト

- ・小路めぐりマップ策定部、小路めぐりん津島☆お試し体験
- ・津島おもてなしコンシェルジュ育成講座

- ・REDDISCOVERY TSUSHIMA
- 写真コンテスト(春の部)

なお、REDDISCOVERY TSUSHIMA写真コンテストにつきましては、入賞作品を活用して津島の「四季」のポスターを製作し、全国に戦略的に発信して通年観光につなげます。

その他、町家まちなか小商い創出支援事業では、津島市創業者育成スモールスポーツ事業として、津島市中心部ににぎわいと元気を創出するために、創業(起業)を目指している方を対象に、期間限定で空き店舗を貸出し、物販から飲食まで、いろいろな店舗が交代で出店を続ける事業など、街のにぎわいを取り戻し、観光客に立ち寄りてもらえるような仕掛けづくりも行っていきます。

④ 青塚駅・永和駅周辺を具体的にどうする考えなのか。

(回答)

昨年度実施しました「青塚駅・永和駅周辺の土地利用基本調査」において、地元住民や民間事業者の意向を把握するとともに各種規制を再確認し、両駅それぞれの課題を整理したところです。今後は、確認できた課題を一つ一つ解決するとともに、青塚駅周辺について

では住居系の土地利用を、また、永和駅周辺については、東名阪自動車道の北側まで検討エリアを拡大し、工業系の土地利用を図ってまいります。

⑤ 天王川公園は雨が降ると足元がドロドロになる。なんとかならないのか。

(回答)

天王川公園は自然的景観をよく残した公園で雨が降ると水はけが悪いところは足元が悪くなる所があります。

特に足元が悪い所については、水はけをよくするために土砂を入れたりして補修に務めてまいります。



# ◎平成28年第3回津島市議会定例会 議決結果

- ★議案第52号 海部地域消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定について……………全員で可決
- ★議案第53号 津島市流域関連公共下水道事業特別会計を津島市下水道事業会計に  
統合するための関係条例の整備に関する条例の制定について……………全員で可決
- ★議案第54号 津島市と愛西市との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約に  
関する協議について……………全員で可決
- ★議案第55号 津島市と弥富市との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約に  
関する協議について……………全員で可決
- ★議案第56号 津島市とあま市との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約に  
関する協議について……………全員で可決
- ★議案第57号 津島市と大治町との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約に  
関する協議について……………全員で可決
- ★議案第58号 津島市と蟹江町との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約に  
関する協議について……………全員で可決
- ★議案第59号 津島市と飛島村との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約に  
関する協議について……………全員で可決
- ★議案第60号 平成28年度津島市一般会計補正予算(第2号)について……………全員で可決
- ★議案第61号 平成28年度津島市介護保険特別会計補正予算(第1号)について……………全員で可決
- ★議案第62号 平成27年度津島市上水道事業会計未処分利益剰余金の処分について……………全員で可決
- ★議案第63号 平成27年度津島市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について……………全員で可決
- ★認定第1号 平成27年度津島市一般会計歳入歳出決算、津島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算、津島市  
住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算、津島市コミュニティ・プラント事業特別会計歳入歳出決算、津  
島市介護保険特別会計歳入歳出決算、津島市流域関連公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び津島市後期  
高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について……………多数で認定
- ★認定第2号 平成27年度津島市民病院事業会計決算の認定について……………全員で認定
- ★認定第3号 平成27年度津島市上水道事業会計及び下水道事業会計決算の認定について……………全員で認定
- ★議案第64号 津島市固定資産評価審査委員会委員の選任について……………同意
- ★議案第65号 津島市教育委員会教育長の選任について……………同意
- ★議案第66号 津島市教育委員会委員の選任について……………同意
- ★議員提出議案第5号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持  
及び拡充を求める意見書……………全員で可決
- ★議員提出議案第6号 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書……………全員で可決
- ★議員提出議案第7号 愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書……………全員で可決
- ★議員提出議案第8号 「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書……………全員で可決
- ★議員提出議案第9号 返済不要の「給付型奨学金」の創設  
及び無利子奨学金の拡充を求める意見書……………全員で可決
- ★請願第1号 「若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書」提出を求める請願……………少数で不採択
- ★請願第2号 子どもの医療費無料制度拡充を求める請願……………少数で不採択
- ★請願第3号 津島市立小・中学校の全教室にエアコン設置を早急に求める請願……………少数で不採択

◎開かれた議会を目指す取り組みとして、議員がどの議案に賛成したか、反対したかを一覧表にして掲載しています。

## 平成28年第3回定例会【議案に対する賛否一覧】 賛成:○ 反対:×

議案 番号	新市民クラブ					改革クラブ					青風会			共産党議員団		公明党つしま		無会派		無会派		無会派
	日 比 野 郁 郎	西 山 良 夫	長 尾 日 出 男	加 藤 哲 司	安 井 貴 仁	服 部 哲 也	後 藤 敏 夫	加 藤 則 之	議 長 沖 廣	垣 見 啓 之	大 鹿 一 八	上 野 聡 久	山 田 真 功	伊 藤 恵 子	太 田 幸 江	本 田 雅 英	森 口 達 也	垣 見 信 夫	宇 藤 久 子	小 山 高 史		
認定1	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
請願1	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	
請願2	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
請願3	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	

※議長は採決に加わっておりません。 ※全員が賛成した議案は記載を省略しています。



### 第3回定例会

8月29日から9月29日まで開催し、5日から7日までの3日間、14人の議員による一般質問を行いました。

今定例会では、議案12件、認定3件、人事案件3件、議員提出議案5件を可決・同意しました。また、請願3件は不採択となりました。

#### 議案に対する討論

##### 議案第60号

##### 一般会計補正予算(第2号)

#### 〈賛成討論〉

改革クラブ 後藤敏夫

農業費2800万円余は生活に密着する農道整備費、地域再生プロジェクト委託料800万円は、滞在観光に資するもの、下水路費1500万円は用排水路の改修・しゅんせつの費用で特に要望の大きい必要な事業であり賛成。

日本共産党議員団 伊藤恵子

児童扶養手当が改正された。第2子(2563人)は5000円から1万円に、第3子(531人)は3000円から6000円に増額されたことを評価する。

支給は4か月に一度ではなく、せめて隔月にすべき。

公明党つしま 森口達也

子育てアプリ構築事業委託料の442万円余であるが、子育て世代の不安感や負担軽減などを図ることができるアプリは有効である。徹底した周知により子育てへの安心安全、不安解消としての一助となることを期待する。

小山高史

子育て支援アプリで情報を発信していく上で、実際の支援をしつかり行って頂き、ネガティブ情報の発信源にならないような市政運営を求める。

##### 認定第1号

##### 平成27年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定

#### 〈反対討論〉

日本共産党議員団 伊藤恵子

子ども医療費無料化が進んでいない。「写真コンテスト」「花ごよみ」などの事業が継続的な地域活性化につながるのか疑問。個人情報漏えい等が心配されるマイナンバー関連に多額の予算が使われているなど問題が多く反対。

#### 〈賛成討論〉

公明党つしま 本田雅英

一般会計は、精神障がい者医療費や在宅医療連携拠点事業の継続を評価。

地域包括ケア確立への取り組みを期待。介護保険特別会計は、介護給付費準備基金に約7000万円を積み立て、来期の保険料の抑制を図っている。

小山高史

27年度の決算で、市長の独自事業の検証をしたが、ほとんど単発で継続性がない事業が多かった。反省をして70周年となる来年度の予算編成をしつかりとしていただくことを要望する。

##### 認定第2号

##### 平成27年度市民病院事業会計決算の認定

#### 〈賛成討論〉

公明党つしま 本田雅英

病棟再編に取り組み、経営改善に努めたが、経常収支は約6億円の赤字。「姿勢・意識の改善」、「常勤医師の確保」、「コミュニケーションによる信頼の構築」に確実に取り組むことを強く要望し、経営改善が進むことを期待。

##### 請願第1号

##### 「若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書」提出を求める請願

#### 〈反対討論〉

公明党つしま 森口達也

隔月支給を毎月に変更することは、事務手続きのコストが掛かってしまうし、

マクロ経済スライドは、現役世代の保険料負担が重くなり過ぎないように導入したものである。最低保障年金制度は、財源の結論が出ていない。

#### 〈賛成討論〉

日本共産党議員団 太田幸江

安倍政権は年金支給額を削りながら、一方で次世代へ引き継ぐべき年金の積立金を目的外に使用し、大きな損失を生んだ。津島市民の命と暮らしを守るためこれ以上の年金支給額の削減は許せない。

##### 請願第2号

##### 子どもの医療費無料制度拡充を求める請願

#### 〈賛成討論〉

日本共産党議員団 太田幸江

子ども医療費の他自治体並みの無料化は、若い世代だけでなく多くの市民の願いである。医療費無料化を拡充しないことは、日比市長の公約や子どもの幸せを願う「津島市子ども条例」に反している。

小山高史

子ども医療費の無料化を中学校3年生まで拡大する請願だが、拡大をして欲しいという市民の思いが詰まった請願である。反対をするのなら、次の選挙で子ども医療費無料化拡大はさせませんと公約すべき。

請願第3号  
津島市立小・中学校の全教室  
にエアコン設置を早急に  
求める請願

《反対討論》

新市民クラブ 西山良夫

市民の税金の使途、限られた予算、学校環境全体から考えると、校舎の防水・老朽化対策・トイレの洋式化工事も残されており、エアコンを全教室に設置することは財政的負荷が大きいため反対する。

改革クラブ 後藤敏夫

全教室に扇風機が設置されて教育環境が良くなったと聞く。学校整備は防水工事、トイレの洋式化が計画されているが整備率は50%未満、災害時一次避難所であり事業は急務。今回交付税7億円の返還事態があり予算化は困難。

《市民病院調査特別委員会視察》

市民病院調査特別委員会では、市民病院の経営について調査・研究するため視察を行い、下記の行政調査視察内容を、今定例会初日に報告しました。詳細については次号(平成29年2月1日発行)でもお知らせする予定です。

- ・草加市立病院→「地域医療構想・診療報酬改定における経営改善について」(8月18日)
- ・総務省→「地域医療の確保と自治体病院のあり方について」(8月19日)



▲草加市立病院にて

《賛成討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

同様の請願が、平成25年9月議会で全会一致で採択されており、財政状況はその当時と変わっていない。学校環境衛生基準でも最も学習に望ましい条件は、夏期で25〜28℃程度としている。教育環境を早急に整えるべき。

小山高史

エアコンの効いた部屋で、子どもたちの教室にエアコンをつけるかどうかで議論をしている我々大人たちはずるい。3年前に一度賛成している議員は、そのことの責任を考えた上で賛成するべきである。

一般質問



改革クラブ  
沖 廣

機構改革の連携について

質問

校区自主防災組織は、各種防災・減災事業に対しどんな取り組みをしているのか。

市長公室長

防災知識の普及・啓発活動のほか、校区単位での防災訓練等の実施を通じ、防災意識の向上に努めてもっている。

また、災害時に校区の市民が一時避難できる、地上3階以上の高所の避難場所として、民間事業所等の所有施設を一時的に避難場所として利用させていただけるよう、市と協力のもと協定締結に向けた取り組みを行っている。

質問

福祉課が取り組んでいる地区懇談会や、高齢介護課および子育て支援課が実施している事業で、「コミュニティ推進協議会との連携は。」

市民生活部長

市民協働課として、関係部署と事業の情報共有を行い、顔の見える関係づくりを進め、「コミュニティの皆さんと協

働のまちづくりを進める。

質問

社会福祉協議会の位置づけは。

市長

地域福祉を充実させるためにも、市役所単独の取り組みだけでは不可能であり、様々な人や団体との連携・協力が不可欠。その中でも、特に社会福祉協議会は、地域福祉を推進する上での重要なパートナーと考えているので、職員にその意識を徹底させ、各課・各グループで社会福祉協議会と顔の見える関係を築いていく。

高齢者施策について

質問

地域包括支援センターと平成29年度4月から開始される日常生活総合支援事業との連携は。

健康福祉部長

地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの中核を担い、他職種連携の要となり、推進していく重要なポジションである。また、日常生活支援総合事業では、社会資源の洗い出しや、課題の抽出、サービスの創出までの流れを作るために地域づくりにも積極的に取り組む。また、総合事業に関する相談業務や申請等の事務手続きにおいても連携していく。



公明党つしま  
森口達也

### 子育て・若者支援について

#### 質問

妊娠・出産期、乳児期、幼児期、学童期から青年期まで切れ目のない一貫した支援を受けられることは、個々のケースに応じた支援が受けられ、最善の道へ導くことができる。子育て支援の取り組みの現状と課題点はどうか。

#### 健康福祉部長

各ライフステージに応じて、健康推進課、子育て支援課、教育委員会が連携をとり、個々の状況に応じて支援に取り組んでいる。来年4月に、切れ目のない総合的な相談支援を提供する子育て世代包括支援センターの開設を目指して準備を進めている。

#### 質問

子どもの貧困対策は、教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の施策が明記されているが、教育の支援に関しての取り組みはどうか。

#### 教育委員会事務局長

平成22年より神守中学校で、月曜日の放課後と土曜日に希望した中学生を

対象にした学生ボランティアなどによる学習支援を実施している。本年度は、天王中学校においても同様な学習支援を実施する準備を進めている。

### 発達障がい現状と取り組みについて

#### 質問

市としての発達障がい支援の考え、学校教育現場での支援の取り組みと今後の方針はどうか。

#### 教育長

発達障害者支援法が改正され、他の児童とともに教育を受けられるよう支援体制の整備、個別の教育支援計画、指導計画の策定の推進等が求められており、今まで以上に児童の発達に応じた支援を行うため、環境整備、また関係機関との連携を強化していきたい。

#### 質問

早期発見・早期支援がとても重要。1歳6か月、3歳児健診において心身の発達状況を確認するとの事だが、具体的にはどのようなことが。

#### 健康福祉部長

健診の各場面で臨床心理士や保健師等のスタッフが、子どもの発達、家庭の要因、親子の関係性の視点から観察し、保護者が感じる育てにくさや発達について気になることがあれば、健診事後教室や発達相談につなげている。



公明党つしま  
本田雅英

### 地域医療を守る取り組みに関して

#### 質問

今回の質問は、前回の6月議会の質問と関連するが、地域医療を守る取り組みの先進地、兵庫県西脇市を視察した。西脇市を参考に、市の取り組みを考える。市民にとって、津島市民病院はどんな存在だと考えるか。

#### 市長

市民のかけがえのない財産と考える。市には地域医療を守る住民団体があるか。医師会の医師が市民病院の当直を支援する取り組みはあるか。小中学校の授業で地域医療を扱うことはあるか。地域医療の講演会等は開催したか。

#### 質問

市には地域医療を守る住民団体があるか。医師会の医師が市民病院の当直を支援する取り組みはあるか。小中学校の授業で地域医療を扱うことはあるか。地域医療の講演会等は開催したか。

#### 市民病院事務局長

海部地域で活動する住民団体がある。平成19年頃、週に1回、市医師会の医師が市民病院で夜勤を行った。平成25年から市民病院の研修医が、市内全小中学校で5年生の授業に参加している。海南病院等と設立した協議会で、11回シンポジウムを開催した。

#### 質問

市の地域医療を守る取り組みも先進事例だが、以前のように積極的に取り組まれていない。その理由の1点目は、市長の思いにある。市民病院改革、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの確立は重要。どう考えるか。

#### 市長

市民病院はなくてはならない。医療体制の確保は市民の大きな安心につながる。地域包括ケアシステムの構築は、まちづくりそのものと考ええる。

#### 質問

理由の2点目は、取り組みを組織的に展開しなかったこと。地域包括ケアシステムの確立と、重要な要素である地域医療を守る取り組みのための、専任部署の設置について、どう考えるか。

#### 市長

議員指摘のとおり、来年度、専任組織の設置に向けて調整を進めている。

#### 質問

今こそ、地域包括ケアシステムの確立に真剣に向き合わなければならぬ。専任部署の設置について、再度、伺いたい。

#### 市長

来年度、健康福祉部内に専任の課長相当職以上の職員と担当者を配置する。



改革クラブ  
垣見啓之

財政改革の件

質問

投資的経費とは何か。

総務部長

道路、橋梁、公園、学校、公営住宅といった目に見えて残る社会資本の建設などの整備に要する経費である。

質問

今後の投資的経費の見通しはどうか。

総務部長

公共施設等の更新に係る経費は、現在策定中の公共施設等総合管理計画による方針を参考に、将来にわたる修繕等に係る経費を見込んで効果的効率的に予算配分を行っていく。

質問

公共施設等総合管理計画の策定にあたり、各所管部署の縦割りではなく、全庁的に市が抱えている状況の情報共有が必要であると思うがどうか。

市長

計画策定の過程で、施設を所管する

各課長を構成員とした庁内会議を開催し、情報共有を図っている。また、計画策定後には全職員を対象に計画内容の周知を図り意識づけを行っていく。

スポーツ振興の件

質問

スポーツ振興におけるスポーツ施設の重要性についてどのように考えるか。

市長

スポーツを推進していく中で、スポーツ施設は安心して快適に利用できるものでなければならず、基本的条件となるもので、とても重要である。

質問

スポーツ施設の修繕には多額の費用が掛かるが財源確保の観点から、スポーツ振興くじ助成金の活用はどうか。

教育委員会事務局長

施設修繕に活用できるものとして、地域スポーツ施設整備助成金があり、助成割合は3分のものである。今後、積極的に活用していきたい。

質問

助成金について市長の考えは。

市長

有効活用に向け、是非研究したい。



新市民クラブ  
西山良夫

ユネスコ無形文化遺産登録に関する件

質問

登録決定までの予定とその意義・目的について、登録後の狙い・効果について、また、課題は何か。他市との連携はできているのか。

市長

本年10月末に事前審査結果の勧告が公表され、11月末から12月に最終決定される。登録されることにより、天王祭の車楽舟行事が国際的に価値のある文化遺産として広く認知される。一層の保護措置が図られ、市民にとっても伝統文化の素晴らしさを再認識し、尊重する機運が高められ、さらに観光誘致にもつながると確信する。

教育委員会事務局長

課題は、担い手の高齢化、後継者不足、経費確保の難しさ等で、今後、祭礼の継承ができる方策を検討する。県下5市1町で連絡協議会を設け、負担金を出し合って、PR活動を共同実施し、研修や交流会に取り組んでいる。登録後は、県と記念イベントを実施する計画を進めている。

質問

ユネスコ登録後は、地域活性化に向けての起爆剤となり得るのか。

副市長

ユネスコ登録は一つの大事なチャンス。いろんな仕掛け、仕込みをして、たくさん市民活動が生まれていくことが大きな力になり、起爆剤としていく。

質問

この度の補正予算で、滞在型観光、地域再生プロジェクト事業委託料800万円計上している。民間のおもてなしステーションを募集する前に、津島神社・参集所に先行投資をして改修整備し、滞在型の名所として売り出すべきでは。

建設産業部長

滞在型観光地域再生プロジェクト事業は観光客にどう対応できるか、課題解決の検討を行う。参集所の改築は、今後、周辺の利活用に関して、神社の計画と合わせ検討協議をしていく。

その他の質問

子どもの生活・教育に関する件





青風会  
上野聡久

### 津島駅、永和駅、青塚駅について

#### 質問

津島駅前、ロータリーを含めた駅前広場について、今後どのように進めていけるのか。

#### 建設産業部長

駅前広場のみならず、アクセス道路やその地域全体の土地利用など、用途地域の見直しも含め、まずは検討する必要があるということでは現在進めている。

#### 質問

ぜひとも、名鉄と交渉してほしい。これは市長にしかできない仕事だ。

#### 市長

津島駅に対するビジョンを一度立てて、その上で交渉をしていきたい。まずは計画を作り上げることが優先したい。

#### 質問

永和駅について、北口に津島市のほうから踏切を渡らずに直接行けるよう歩道橋を線路の上にかける。それに付随して駐車場、駐輪場のようなものを作ってほしいか。

#### 建設産業部長

JR東海へのヒアリングから、歩道橋のような自由通路を設置することは、近隣踏切の撤去が前提となり、非常に難しいとの回答を得た。こういった状況から駐車場のみを設置するというのも難しい。

#### 質問

青塚駅について様々な調査をされているが、青塚駅については踏切を何とかする。これ一点であると思うが。

#### 建設産業部長

青塚駅の踏切の拡張は市民の方が望む声だと思っているが、鉄道事業者へのヒアリングの結果は踏切部分のみの拡張はできないとの返事だった。

### 防災行政について

#### 質問

市が避難所としている体育館が雨漏りをしている状況。早急に改善すべきと考えるが。

#### 教育委員会事務局長

補助金などの財源確保に努めて対応をしていきたい。



改革クラブ  
後藤敏夫

### 公共施設に関する件

#### 質問

当市の公共施設の施設数および維持管理また道路や橋の総量についてどうか。

#### 総務部長

市全体では115施設、維持管理経費は約33億6000万円、道路総延長約478km、橋梁数477橋、上水道約418km、下水道約99km、都市公園等67か所となっている。

#### 質問

秦野市は計画に具体的数値目標を持つて取り組んでいる。当市はどうか。

また、公共施設の管理を一元化して経費節減することについてはどうか。

#### 総務部長

計画を策定していく中で公共施設の在り方や施設の数、延べ床面積等に関する削減率等、数値目標を検討する。維持・管理にかかる全業務を一つの課に集約することは考えていないが、一括発注することで、事務処理の簡素化や経費削減につながることも考えられる。

で今後検討する。

### おまつりについて

#### 質問

ユネスコ登録は車楽舟行事である。領事館等を朝祭りに招待する考えは。

#### 市長

朝祭りを積極的にPRするとともに、朝祭りの招待については領事館の希望を伺いながら案内していく。

#### 質問

歴史文化ゾーンの景観修景事業および小路整備事業の状況について、また駅東の取り組みの状況についてどうか。

#### 建設産業部長

景観修景の具体的な補助内容は他市の事例を参考に検討している。施行時期は平成29年度の当初に予算を計上し事業を進める。小路整備は筏場、西御堂、舟戸、本町4丁目地内で2路線、馬場町地内60m行う。29年度はさらに5路線他本町筋など整備を行う予定である。

駅東の状況は、市道藤里1号線の用地取得をしている。駅前広場予定地の地権者より売却の申し出があり、駅を安全・安心に利用いただけるよう避難場所や車両転回できる整備を暫定的に進めるため、取得に向けた交渉をしている。



青風会  
山田真功

平成27年度決算について

質問

平成27・28年度の普通交付税の決定額はいくらか。また普通交付税算定の基準財政需要額の問題があったが影響額は。

総務部長

平成27年度が約25億7000万円、28年度が約22億4000万円。このうち生活保護費に係る錯誤による基準財政需要額の影響額は約1億円。

質問

平成27年度の一般会計の収支額が例年より黒字決算になっているが主な要因は何か。

総務部長

歳入では、市税が約2億3000万円、地方消費税交付金が約2億5000万円、想定を上回り増加するとともに、地方交付税も約3億6000万円当初の見込みより多かった。

歳出では、障がい福祉費や児童措置費において扶助費や補助金等の執行額が想定より少なかったことが要因。

質問

財政力指数が県下、下から3番目で厳しい財政状況。未収金や滞納の収納率の向上に全力を挙げるべきでは。

総務部長

納税の公平性を維持するために大切である。引き続き収納活動に力を入れていきたい。

質問

市民病院事業において民間金融機関からの一時借入金は18億3000万円だが、一般会計からの借入金残高はいくらか。

市民病院事務局長

平成27年度末残高は約13億円。

質問

平成27年度末不良債務比率はどれくらいか。また県下の公立病院のある自治体で不良債務がある自治体は。

市民病院事務局長

平成27年度の不良債務比率は12.9%。不良債務がある自治体は県内の市町村立病院では津島市民病院のみ。

その他の質問

・市民病院調査特別委員会視察に関する件



日本共産党議員団  
太田幸江

平和行政に関する件

質問

「非戦・核兵器廃絶都市宣言」をホームページに掲載し、広く世界中に知らせるべきではないか。

市長

広く周知を図るため、9月1日付けで市のホームページに掲載した。

質問

2017年8月に4年に一度の平和首長会議総会が長崎市で開催される。市長は参加されるか。

市長

日程の調整もあるが、ぜひ参加する方向で調整する。

子育て支援に関する件

質問

子ども条例を制定した街として、それにふさわしい子育て施策の展開をしていくべきである。「津島市子ども条例」に対しての市長の思いは。

市長

子どもたちが将来にわたって安心して生き生きと元気に暮らすことができるよう権利を守り、子どもに優しい地域社会を今後も築いていきたい。

質問

学校の3階の教室で朝8時40分時点の7月の平均気温は30度。設置された卓上型扇風機は暑さ対策になったのか。エアコン設置についての市のこれからの計画は。

教育委員会事務局長

暑さを和らげる一定の効果を得ている。学校の施設整備については学校からの要望を合わせながら検討していく。

質問

就学援助制度の給食費100%支給と支給回数を3回に増やすことについて、どのように考えているか。

教育委員会事務局長

給食費支給は現状7割支給のまま。支給回数は、他の自治体の状況を把握しながら検討していく。

質問

子ども医療費無料化の拡充を。

市長

国に対して国の制度として創設するよう要望している。



日本共産党議員団  
伊藤恵子

### 基地のバリアフリー化について

#### 質問

「車いすでもお墓参りしたい」との声がある。元寺霊園においてバリアフリー化を検討してはどうか。

#### 市民生活部長

スロープ設置スペースや道路幅の確保が課題。困難な区画もあるが、対応可能な区画から順次改善を図っていく。

### 介護サービスの低下ではないか

#### 質問

介護保険の要支援の方が介護給付から外され、市が事業主体となる新総合事業に移行する。現在要支援1と2で、訪問・通所サービスを利用されている方は何人か。またどのようなサービスを提供しようとしているのか。

#### 健康福祉部長

要支援1と2の訪問・通所サービス利用者は590人。現行相当サービスは残さず、緩和基準型として、通所型サービスA・B・C、訪問型A・Bを設けている。

#### 質問

緩和型Aとはどのような内容か。

#### 健康福祉部長

通所型Aは、1日型(4～8時間)と短時間型(2～4時間)を設け、市が提示したプログラムを推奨する。設備や人員の基準緩和をし、基本報酬を1日型は現行の8割、短時間型は1日型の8割とする。訪問型Aは1回の提供時間はおおむね45分までとし、人員基準を緩和する。多くの方は現在利用中の事業所でサービスを受けられると考えている。

#### 質問

今まで、サービスの後退はないと当局は随時答弁されてきた。参議院厚生労働委員会の附帯決議でも利用者のサービス選択の意思を十分尊重するよう求めている。590人の対象者に今後の意向を聞いているか。

#### 健康福祉部長

聞いていない。

#### 質問

報酬が8割になるサービスを現在の事業所で継続することだが、有資格者の介護職員の待遇はどうなるのか。

#### 健康福祉部長

介護職員の処遇改善については、国の動向を注視していく。



青風会  
大鹿一八

### 公共交通機関の現状と対策について

#### 質問

名鉄電車の便数と利用者数は。

#### 市長公室長

津島駅から名古屋方面への便数は、平成18年度は平日が102便、休日が93便で、23年度から現在まで、平日が90便、休日が96便となっている。

#### 質問

名鉄バスの便数と利用者数は。

#### 市長公室長

津島駅バス停発の便数は、平成24年度は平日が91便、現在は平日80便となっており、1日の利用者数は24年度が523人、今年度は530人。

#### 質問

公共交通の利用者を増やすため何が必要と考えるか。

#### 市長公室長

パーク・アンド・ライド、キス・アンド・ライド等の利用促進に対する意識づけを図り、ダイヤ改正や増便を名鉄本社

に要望していく。

#### 質問

七宝から東のバス停には屋根とか無線の案内板があるが、市にない理由を把握しているか。

#### 市長公室長

屋根や案内板については、名鉄バスと情報交換し、要望していきたい。

### 名鉄津島駅、駅周辺の整備について

#### 質問

駅周辺の耐震補強工事後に高架下の店舗が行った後の活用について、市として駅にふさわしい姿を要望できないか。

#### 市長公室長

高架下は名鉄が所有しており、現時点では活用について申し入れる予定はない。必要があれば高架下を管理している担当部署を確認して申し入れを検討する。

#### 質問

夜の津島駅が真っ暗で怖いという利用者の声があるがどうか。

#### 市民生活部長

夜間も警察官が常駐するよう要望していきたい。防犯上問題があれば名鉄と相談していきたい。



小山高史

市民にとって必要な子育て支援とは

質問

最初に結論から言うと、現状の市に必要なのは、まず子ども医療費無料化の拡充と学童保育の充実である。この二つをしつかりと進めていただき、子育て応援券や支援アプリ等の小技はやめる等、選択と集中をしていただきたい。市長の考える必要な策とは。

市長

私は小技をやっている訳ではない。育児に対する心身的・経済的な負担の軽減を図るために子育て応援券を県下初で導入し、子育て支援センターも土日開所をし、夏休みの児童の預かり事業もスタートさせた。今後も子育て世代が社会的な活動と子育てを両立できる環境づくりを積極的に進めていく。

質問

市長は27年度の施政方針で子育て応援券をきっかけに出生数を400人から500人にすると演説していたが実際は361人であった。きっかけがつかめずにスタートダッシュに失敗したが、これからどうするのか。

市長

子育て応援券は一つのアピールであり、28年度も実施しており、継続的に行う。PRも積極的に行い、複合的な子育て支援を進めていく。

質問

夏休みの預かり事業は、子ども教室同様に無料なので満足度も高く120人の応募があり、60人の子を受け入れたが、残りの子はどこになったのか問題。来年度以降どのように考えているのか。

市長

学童はあるが夏休みだけ預かる場所がないという意見があり、就労している保護者の支援を色々と検討中である。

質問

子ども医療費の予算が毎年2000万円以上余っているが、子育て応援券や子育て支援アプリをやめれば、無料化は6年生まですぐに拡大できるのではないか。市長の決断は。

市長

そついった判断も必要かもしれない。

質問

建設費20億円以上、運営費年間1億円以上のまつり会館の白紙撤回宣言を。

市長

市民の皆様力を得ながら頑張る。



新市民クラブ  
安井貴仁

主権者教育の現状と今後について

質問

第24回参議院議員通常選挙の本市における投票率および、第23回参議院議員通常選挙の投票率の変化はどうか。

総務部長

投票率は、52.53%である。前回、平成25年の参議院議員通常選挙は48.91%で、3.62ポイント増加であった。

質問

市内有権者数のうち、投票に行った20歳未満は何人で、全体の何%に当たるのか。

総務部長

18歳が707人、19歳が716人、合計1423人で全体の2.69%である。

質問

主権者教育の現状と、主権者教育に関する見解を問う。

教育長

現在、小学校では6年生において、国会や選挙、政治の仕組みを学び、中学校

においては、公民分野の授業で民主政治について学んでいる。

選挙権、被選挙権、選挙の仕組み、政治参加と世論などから、主権者として重要な決定に参加していくことや、社会の中で自立し、他者との連携協力をしながら、社会の構成員の一人として決定していくことを学ぶことが大事であると考える。

市長

これから市の発展のためにも若い方々の意見を十分にお聞きしながら、いろんな施策を展開していきたいと考えている。





垣見信夫

市民病院の経営形態と健全経営の考え方と、その手法は

質問

病院経営の運営形態は地方公営企業法により、全部適用・一部適用・指定管理者制度・独立行政法人の4種類があり、本市は一部適用で運用しているが、今後もこの形態で運用されるのか。

市長

平成21年には津島市民病院改革プランを策定し、一部適用による公設公営により改革を進めることを明示した。

現在、医療を取り巻く環境の変化が激しく、かつ厳しい中で、適切な経営形態の答えは簡単に出ない。形態のいかんにかかわらず、持続可能な病院経営を行うっていくためには、病院の自立性を高めていくことが不可欠である。新たな課題に対応していくことができる組織形態、体制づくりをしていく考えである。また、地域住民、医師会等、関係者の支援をいただきながら自治体病院の開設者として、地域医療の要である津島市民病院のさらなる経営改善、経営改革に全力で取り組んでいく。

一般質問

質問

代表監査委員から病院経営の黒字化を目指す重点は、市民病院調査特別委員会の報告同様に、医師確保による診療科目の充実、高度医療への積極的な取り組み、救急医療体制の充実強化の三つであると発言された。私はもう一つ加えて、地域医療の中核をなす地域包括ケアシステムの適切な運営の四つが健全経営の一番重要と考える。医師の確保についてどう考えているか。

市長

医師の確保は非常に大切と考えている。関連する大学病院にお願いに行く。

質問

国が経営難の市民病院へアドバイザー派遣と報道されたが、どのように受け止められたか。

市長

病院で働く医師や職員は一生懸命頑張っている。私も含めてまだまだ力不足かもしれないが、一生懸命頑張っていることを前面に出していただければありがたかった。

COMMITTEE

厚生病院委員会レポート

議案第60号  
一般会計補正予算(第2号)

Q 妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を実施するため、子育てや就労等で忙しい保護者が子どもの成長段階に合った子育て関連の情報を手軽に取得することができるよう、子育て支援アプリを構築するということであるが、早い段階で取り組んでいる世田谷区の実況を参考にすべきと考えるがどうか。

A 世田谷区等の状況を参考にしていく。

Q 来年4月からスタートするとランニングコストの概算は。

A プロポーザルをするに当たって仕様を立てており、その中でランニングコストを低く抑えられるようにしていきたい。

認定第1号  
平成27年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定

Q 障がい福祉費、委託料のうち、福祉タクシー委託料364万円余

について、被爆者手帳の受給者もタクシーチケットが利用できるようになったが、何件ぐらい利用されたか。

A 申請数で5件ほどである。

Q 介護保険特別会計、介護支給費2905万円余の内訳は。

A 福祉用具購入として2322件620万円余、住宅改修が249件2285万円余である。

Q 昨年度の決算で指摘をした総合保健福祉センターの空きスペースの有効活用についてどのように考えたか。

A 総合保健福祉センターだけでなく健康福祉部内のほかの課の利用ということも当然視野に入れて、検討を進めていきたい。

Q 国民健康保険特別会計、一般会計からの繰入金9億7297万円余の内訳は。

A 基盤安定繰入金3億1170万円余で、保険税軽減分として1億9483万円余、保険者支援分として1億1686万円余である。また、一般会計繰入金6億6126万円余で、職員給与等として8845万円余、運営協議会委員報酬として50万円余、事務費等として3150万円余、出産育児一時金



等2240万円、財政安定化支援事業費として7136万円余、低所得者減免分として1964万円余、所得激減者減免分として328万円余、福祉医療波及分として3077万円余、特定健診市負担分として1055万円、不足分として3億8278万円余である。

Q 福祉波及分3077万円余について、具体的に説明願いたい。

A 子ども医療費680万円余、障がい者医療費1486万円余、精神障がい者医療費373万円余、母子・父子家庭医療費537万円余である。

Q 後期高齢者医療保険料に係るペイジー(\*)の活用は怎么样了なのか。

A 国民健康保険と同様に、後期高齢者医療も口座振替の推進をしていくように職員に指導していく。

認定第2号  
平成27年度市民病院事業会計  
決算の認定

Q 病棟再編に係る備品費はいくらか。

A ベッドから降りたときに反応し、患者の転落などをわかるようにするコールマットが189万円余、そのほかは酸素濃度を測るパルスオキシメーター等の器械が主なものである。

Q 昨年、入院患者が行方不明になって翌日落下していた事故対策をということで、現状では、そのマットの購入だけで終わっているのか。

A 本年度に入ってから、疑いのある患者さんにリストバンドをつけていただき、出入り口を通過するときにナースステーションの中で警報が鳴るシステムを導入している。

Q 稼働率等について、若干前年よりも落ちているが、単価が上がって、収益は若干上がったということであるが、その中で、診療科ごとに、大きく減ったところはないか。

A 入院収益で一番落ち込んだ診療科は、脳神経外科で前年度比約9700万円の減収、次は整形外科で4300万円ほどの減収、泌尿器科、内分泌科なども減収であるが、全て常勤医師の減少に伴うものである。

医師確保が重要だと認識をしている。申請2件は不採択

※ペイジー(ペイジー口座振替受付サービス)とは

お持ちのキャッシュカードで口座振替の申し込みができるサービスです。これまでの通帳印を利用した手続きでは完了までに数週間必要でしたが、ペイジーならその場で手続きが完了します。

文教建設委員会レポート

議案第52号

海部地域消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定

Q 海部総合庁舎内1階に設置することだが、各市町村の負担金はいくらか。

A 確定した事業費から国の交付金を控除した一般財源分を均等割と人口割により算出した額で、当市の負担は約200万円である。

議案第53号

流域関連公共下水道事業特別会計を下水道事業会計に統合するための関係条例の整備に関する条例の制定

Q 会計を統合する理由は何か。

A 統合することで流域関連公共下水道の経営状況をより具体的に把握することができ、公営企業の経営基盤の強化に取り組むことで効率的な事業運営が可能となる。また、経営状況が明確になるので安易な値上げ等にならないなど市民サービスの向上につながる。

議案第60号

一般会計補正予算(第2号)

Q 単独土地改良事業の工事請負費として2829万円余計上されている。道路の舗装新設とのことだが、工事内容は。

A 工事箇所は、上新田・高畑・大木地区の3か所で、施工期間は29年1月から3月までの予定で、3地区合計の延長は1100メートルである。

Q 滞在型観光地域再生プロジェクト事業委託料として800万円計上されているが、事業内容は。

A 市の観光や魅力を多くの人に体感してもらうために、外国人や他の大都市に住んでいる方を対象に29年3月に1週間程度、寺院や改修整備した町家に滞在してもらい、滞在型観光が可能になるような仕組みをつくっていく。

Q 中学校の学校管理費として404万円余計上されている。修繕費とのことだが内容は。

A 神守中学校の校内放送および非常用放送設備で、設置後30年が経過し、避難訓練を行った際に放送が聞こえないなど、不安定な状況が発生しているため修繕するものである。

認定第1号

平成27年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定

**Q** 青塚駅および永和駅周辺の低未利用地の活用を目的に、土地利用基本調査業務委託料として996万円余支出されているが、現在住民要望等、どんな動きがあるか。

**A** 青塚駅は道路が狭く危険なため対処してほしい、駅前で乗降場所が欲しいという要望がある。名古屋まで電車で30分圏内で住居系の開発を予定し、県道拡幅などの整備を進めながら駅力を高めていきたい。永和駅はインターに近いので工業、物流系に有利との調査結果であるが、まずは鹿伏兎町全体を視野に開発をしていきたい。

**Q** 市営又吉住宅の土地明け渡し請求調停に係る弁護士謝礼として65万円余支出されているが、又吉住宅の現状はどうか。

**A** 明け渡しに関して対象者8名のうち4名にに応じていただき、あと3名も応じていただける予定。今年度中に2棟の取り壊しができる見込みである。

**Q** 子どもの基礎体力向上記念品として59万円余支出されているが、目的と内容は。

**A** 子どもの体力向上のため、標語を作り、各小中学校に均等に4種類計288本のぼり旗を配り啓発を行った。

**Q** 児童科学館外壁タイル調査委託料として96万円余支出されているが、調査内容と結果はどうか。

**A** 外壁の劣化調査で、7月から2か月間、2人で打診法による調査をした。落下の危険性があり、入れないよう仕切つて緊急措置対応しているが早急な対応が必要でタイル張替に1700万円程度かかるとの結果がでている。

**Q** 山車蔵等基本デザイン事業業務委託料として453万円余支出されているが、委託内容と目的は何か。

**A** 蔵の利活用方法の調査検討、工費の算出、保存会からの意見聴取のワークショップの運営支援業務で、文化財の保護・継承と町なかの回遊性に資する山車蔵の素晴らしさを再認識するための基本デザイン作成である。

**Q** 市営住宅および改良住宅の現在の滞納者数と納付への対応は。

**A** 平成28年5月末現在で、市営住宅33名、改良住宅55名である。滞納が3か月を超える催状を出し、連帯保証人等への請求、明け渡しを含めた請求に切り替え、早期の納付をお願いする。

請願1件および陳情3件は採択

## 総務委員会レポート

### 議案第60号

#### 一般会計補正予算(第2号)

**Q** 個人番号カード交付通知のための郵送料として20万円計上されているが、現時点で、マイナンバーの発行枚数および交付率について説明願いたい。

**A** 8月末現在、4149枚で、市民に対する交付率は6.5%になっている。

#### 認定第1号 平成27年度一般会計決算・各特別会計歳入歳出決算の認定

**Q** 消防庁舎施設改修工事費として1億8455万円余支出されているが、予定価格に対して何%か。

**A** 84.88%である。

**Q** 器具購入費として113万円余支出されているが、購入した器具は。

**A** レスキューブロック一式36万9360円、救命胴衣37着分55万9440円、レーザー距離計測器1万9980円、救助用縛帯3万780円、消火器6個分8万5080円、潜水ポンベ12リッター7万円である。

**Q** 巡回バス運行委託料として2563万円余支出され、乗車人数は平成26年度に比べて1726人増ということであるが、運賃収入はどうなっているか。

**A** 平成27年度の運賃収入は483万円余である。

**Q** 国勢調査調査員業務委託料として19万円余支出されているが、委託先と業務内容は。

**A** 委託先は社会福祉法人愛燦会あいさんテラス、特別養護老人ホーム長寿の里、児童養護施設あいさんハウス、有料老人ホームライフケア津島、有料老人ホームドルトワールひだまりの5つの施設で、業務内容は施設の職員に調査員としての研修を受けていただき、登録された場合に対して、市から施設への業務委託料1件3万9310円で5件分である。

**Q** 不納欠損処分については、どういった理由によって執行されるのか。

**A** 地方税法第15条の7で、まず1号で滞納処分する財産がないとき、2号で滞納処分することによって、生活を著しく困窮させるおそれがあるとき、3号で所在および滞納処分をすることができない財産がともに不明であるときは執行停止がかけられるということになっており、こういった事例があった場合

は執行停止をかけ、基本的には3年経過したものを不納欠損としている。

Q 西尾張たばこ協議会負担金として15万円余支出されているが、負担金の根拠はどのようなになっているのか。

A 根拠は、前々年度のたばこ税額の1万分の3・5のたばこ税率割と2万円均等割で算出されており、内容としては、未成年者の喫煙防止事業、まちの美化運動事業等を行っている。

Q つしま夢まちづくり提案事業審査会委員報償費として52万円余支出されているが、前年度まで29万円余であったが、この増額になった理由は。

A 昨年度は、審査会を2回行ったための増額である。

Q 個人番号カード交付事業費国庫補助金として1799万円余歳入されているが、この補助金の対象経費について説明願いたい。

A 事業費国庫補助金について、国から受けた補助金額をそのまま地方公共団体情報システム機構に交付金として支払い、地方公共団体情報システム機構では、通知カードの作成、発送、個人番号カードの申込処理、製造、発行のほか、個人番号カード機能の一時停止などのコールセンター事業等を行っている。

Q 通知カードの件について、行き渡っていない件数は、どのくらいあるのか。

A 市役所に残っている封書の数は、398件である。

Q 合併処理浄化槽設置整備費県補助金として218万円余歳入されているが、何件あったのか。

A 56件である。

## 議会の傍聴にぜひお出かけください。

平成28年第4回定例会は11月29日(火)～12月26日(月)までの開催予定です。

- ★会議は午前9時から開催します
- ★日程は、変更になる場合があります。
- ★詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

☆11月29日(火)	開会
☆12月6日(火)	一般質問
☆12月7日(水)	一般質問
☆12月8日(木)	一般質問
12月12日(月)	厚生病院委員会
12月13日(火)	文教建設委員会
12月14日(水)	総務委員会
12月15日(木)	委員会予備日
12月16日(金)	委員会予備日
☆12月26日(月)	閉会

☆印は、クローバーTVの生中継及び夜7時からの再放送を予定しています。

## 平成28年第4回定例会から議場の傍聴席がバリアフリーになります。

車いすの方にも傍聴いただけるよう傍聴席までのスロープや専用スペースを新たに設けます。



## 編集後記

第3回定例会は8月29日に開会し、9月29日に閉会となりましたが、一般質問は9月5日より3日間にわたり14議員が質問に立ちました。

委員会審議においては、27年度の決算審査も行なわれ、各委員会で熱心な議論と審査が続ぎ、厚生病院委員会では予備日を使った3日間でも審議が終了せず、翌朝午前2時過ぎまで委員会が続けられました。

議会だよりの編集にあたっては、一般質問の内容や、委員会審議および議決結果に至るまでの経過について、分かりやすく記載するよう心がけました。

また、今回の議会だよりに、7月に開催された議会報告会において、市民の皆様から託された要望や意見に対する回答も掲載しております。ご覧いただいで、皆様の感想やご意見を議会に届けていただければ幸いです。

### 議会だよりの編集委員会

- ◎伊藤恵子 ○森口達也
- 大鹿一八 宇藤久子
- 安井貴仁 沖廣
- 服部哲也
- ◎委員長 ○副委員長

議会だよりは、津島市議会の責任において発行しています。

次号は、2月に発行予定